

取伝大会、謝辞、後援、選手諸君、PT会、先生、お疲れさまでした。

取伝大会

板野中学校

優勝

十一月二日に行われた板野郡中学校取伝大会で板野中学校は見事に優勝に輝いた。昨年度の新人大会は男子が準優勝、女子が優勝だったが今年のこの大会は男女混合のチームでの競争だった。二位の上板中学校を三分少々引き離しているから圧勝といつてよい。選手諸君ご苦労でした。先生たちもうれしい。次の県大会でも頑張つて欲しい。

以下、記録です。

区間	氏名	記録(区間)	通算
1	香美 豊明	16分55(3)	
2	尾田 雅夫	10分07(1)	27分22(1)
3	佐滝 昭博	10分58(1)	38分40(1)
4	吉川 朋秀	10分33(1)	48分43(1)
5	円藤 志乃	7分55(2)	56分08(1)
6	安芸 雄三	13分51(1)	69分59(1)
7	岩下 方大	13分57(1)	83分46(1)

二位・上板、三位・松茂、四位・藍住東の順。

勉強—全体と個人

* 勉強というものは極めて個人的なものである。共に研究するということはもちろんあるし未知の分野に向かって進む研究の場合は共同研究の場合がより効果を上げることが多いだろうと思う。企業などの研究活動はその方が多いと聞いている。しかし、受験勉強は最も個人的な勉強になる。教えあい、励ましあうこともあるが個々のレベルや目標が違つたため共同の勉強ということになりにくく、加えて競争だという意識もあるだろう。

しかし、中学三年生の段階の高校入試の勉強についていえば学級の学習にかけると熱意と個人の学習にかけ



る気持ちや成果は多きな関

連があるというのが先生の今までの経験からの信念なのです。学級が一つになって、教えあい励ましあいていくことが結局は自分の力をつけていく上で多きな効果があるということです。目標や今の時点での力の差はあつても、苦しさや焦りは共通のものは、学級が良くなれば個人も良くなつていくというのは、学級が個人の集合体である以上当たり前のことです。それが、単なる足算になるのではなく、掛け算になるといふところに意味があります。友達に教える人に教えられる人にも効果があります。クラスを勉強のできるムードに作り替えていくことは、一人一人の責任であり、その成果は確実に一人一人に返つてくるものです。先生



たちもそんなつもりで、もう一度各クラスを見ていきたいと思つています。クラスが勉強の雰囲気悪くて個々の成績が上がるということとはほとんどない。

* 次の文は同和問題意見発表会の後のある女子の感想の一部です。

「私じゃないと一体誰が私の中の差別心をやつつけれるんでしよう。自分できや誰が自分の思つていることを他の誰かに伝えれるでしよう。」

先生はこの文章がものすごく好きになつてコピーしてノートに張つてあるんですが、本当にその通りだと思つた。「差別心」のところを他の言葉、例えば、「なまけ心」と置き換えてもいいんです。自分でないでできないことを、自分でやつて欲しい。今の自分に改めるところがあるならそれを改めるの

は自分以外には無いということを生身自身ももう一度考へてみたいと思ひます。

あゆみより

* 本当に3年というのは日が経つのが早い。早、7カ月過ぎてしまつた。段々入試にちかづく。4カ月の間でどれだけのが機にできるだろうか。まず、一番にやはり勉強を今までより頑張らねばいけな。そして次にもつと友達との友情を深めていきよい3年生での生活にしたい。



う後4カ月しかない。1日1日が大切だということを実感する。確実に入試の日は来るし卒業のときも来る。笑顔でみんなを送り出したいのです。

* 今やつている補習、なかなかよいと思う。ものすごく腹へるけどなかなか力が付いていふつて思う。だから、眠たがりポツとせんとまじめに授業受けようと思つた。力が付いていふつてると思ふということ、それだけ真剣に補習を受けることができていふこと、それです。その調子で3月まで頑張れ。腹へるのとは誰も同じ。しよない。

* 今日の五、六時間目の脱教は足が痛くてつらかつたです。僕もこの頃頭がポツとなつていました。が、五、六時間目のことで頭の中がなんかスッキリしたような気持ちです。勉強の方頑張りたいです。

* 今日脱教をくらつた。初めは何で自分もせなにかんの、遊んでいた子だけでええでえ、と思つたけど、話を聞つきよつたら何か自分のこと言われよるみたいで、ちよつと恐かつたなあ。考へてみたらほのとおりやなと思つた。自分の悪いところはやつぱり自分で直すしかない。



※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす



※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

雑談

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす



※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

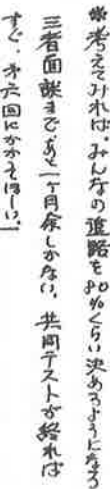
※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

※今日勉強しつゝ、11頃になると、「今頃みんな電話
かけようだなあ」と思っていました。
共同テストは何もしないから、わか
らないうちでボーッとします。ひびす

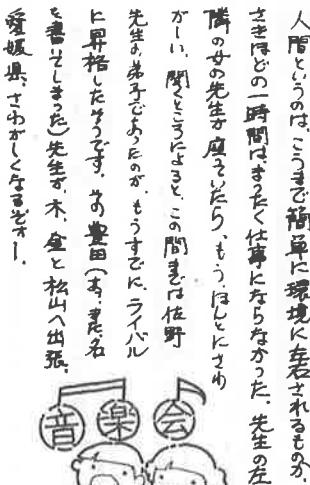


特に困らない時の電話の意外な効用と発見した。夜遅くに担任の先生からの電話というのは、みんなどうても、我旗の方にも、あまりに臆に、よしくないだろう。みんなもう、もともと、担任の先生に電話をしても、ではどうだろうか。先生方の家庭での声も。



は時間は一時から九時の間をまつ。
ちやみに、昨夜は「火曜サスペンス」の後半の
おもしろい部分は何かやりわからんものだった。

※「これにて、話すべし」が――



で次の一時間、前に佐藤田先生なり、この時の仕事の
かゝるも、先生はこの歳になう、まだ、まゆりに左右され
る弱い人間だ、というもわかつた。修業を居りし。

豫考をすれば、みんなの進路を、おのづから決めるようになる。三者面談まであと一月余しか残り、共同テストが終ればすむ。オランダにかなうまい。

○新しい水着も買った 夏休み 水口今代筆
○風鈴の涼しき風に揺られけり 土内恵子

平成三年庚子株まり・金園小中學生俳句大会

で水谷千代美さんと土内恵子さんの句が入道に選ばれた。応募総数は二十一万四千句。特選・通選・入道とあまうちの入道。これだけの中から選ばれたのだからたいしたものだ。豊田先生が自分の句のようによきでいた。

・山口先生がハニヤをもつたやつ、コリコソしている。あつちへ平
らしく物でハニヤをつづけた。どうもつまらない。後、紙
片が椅子のまわりにな散らかっている。まああと、足で踏つてちやんすの
だまつと思ふたり。ほうちちり取りも持をきて、体を小さくして
さうんとさういふした。あちりまえていふはあつちまを、豊田
先生はあつちと。口はさうだ。

・トイレに行きそりたり、外から大きな声で、「仁木先生、お苦痛です」といふかられた一瞬、出るものも出んようになった。教員になつて20年になつてもトイレに於て、外さうかの先生にいられたのは初めてのこと。あつて出てしまつたりさう急ぐ間もなく、5分や10分どうもいふことはない、オ、豊田先生で、処理できる問題、トイレにまで呼びに来て、大声で訴へあつてくれるとはなして、底の底の三年生でしよう。

・三年生の先生方に土産が届きました。
 日の職買会もまた食べます。何なうて
 他の学年は含めて「かみじょう」と。
 返静に見えす。佐藤田先生も食べ物で
 からむじ。本誌が出る。



佐藤田先生「先生、今



あゆみより

あ
ゆ
み
より

※ 今朝の三時三十五分です。今日の数学がエーッぱりだ
 った感じがします。朝早く起きるのが好きです。
 朝日がとちもキレイなのでそれを楽しみに頑張れます。
 前はよく朝日が昇るという屋上にはのぼってほしいまし
 た。今日久しぶりにやそめつかな。
 ↓ 今日の日
 日出は、偽陽は六時二十六分。すいぶん遅くなった。か
 し、いっせあても昇る太陽というのはいじものだ。空気が乾
 持ちだし、横に大きく見えるでしょう。笑うようにして
 見える。三時三十五分ですか。その前がわからんか
 らなじもコメントのしようがないが、無理とひびり
 返るなよ。一度三年生で、朝ごはん持てきて、屋上で
 朝日を見るのやとしますか？

剛金式が

● ● ● ● ●
※国民体育祭につなひきのメバーとして行った。終
あと、三才体操とウルトラクイズをけして、そして網
引もした。わごと優勝した。景品をもつたけど軽
かった。見てみたら化粧品なども置りたりするケース
だった。男がこしすもんいるか!!と思った。↓うし
うん、男だっからみんな愚う。お母さんにフセニトすれ
は？いらんと言えば、佐野先生にフセニトすればまこと
さつて、喜んでくれる。

さつて、喜んでくれる。

※今日、國語の時間、豊田先生が、今度、私と佐野先生は「ライバル」と授業の中で説明していました。前までは「弟子」ともらっていたなどと言っていたのに、今日は「ライバル」と言ういました。あの先生はほんまにどんなにかはばまりてもらいたいものだ。

↓ 何がライバルで何が弟子なのかよわからん。まああまり、はっさ



【共同テスト】

りさせない方がよろしい。平和です。その
「オがー」

だ。昨日のは最低だった。社会の結果は先生は、この点では
 あがなくていいけど、私はいいかなあと思つた。でも五教科
 の合計点を予想するとは、まり言て悪い。先生の肩間
 にしわもよせてフツツおこっている顔が、ふと浮上をきた、こ
 わいよう—— ↓ あの聲じやねはすまじいもんやあ。
 確實に五教科は落しあがつた。三月に向けて、雲仙の落着け
 のように、だんだん成長して、大まき落しあがつた。どうか……
 崩壊せしうに、けんなな先生方の期待に応えて、預託、
 てほしい。火砕流で、みんな、大火傷したら困る。

明日でテストも終りなりと、今日やった理科の勉強を

にはびっくりしました。なんか計算問題み
たりなほうかりで、まのうぬ死に勉強した
ところ、はすれたで、今日のテストやて
いました。最後のテストは英語だけになつて
けど、これも全力で、今日もテスト勉強がんばります。
今頃、みんなもがんばっているだろうから、
頑張っていることと思う。たえはすれても、がんばるは分
かす。次に生きてくる。途中で投げ出すに、最後までやれ。



※ 今白いきなり数学のテストがもとできました。20問あ

てあなたは半分くらいでした。一問五点ずつです。く
悲しかたです。高校入試のテストは一問五点ですか
↓入試の配点はわからないのですが、そう要わりほ

なりと思ふすゝに於て一番二番の基本的な問題として、それ以下の問題に大きい差はないことは確かです。解けるものは確実にとることに。

※今日数学が返つてきて95だったのうれしからです。こゝにきて数学が上つてきてとてもうれいです。あとは社会と英語だけと社会はまあまあだと思つて明日の英語も頑張ります。

※本当になぜか、もともと不安になります。それは今回のテストはダメだからです。けど、とにかくしてがんばって自分の行きたいところへ行きたいです。だから、その為にも精一杯がんばりたいと思います。テストというために点数を取りますんでいいじゃないですか。下でいっているように思えます。本当の本当に、少しでもあきらめよう、二つ努力をいそいそと怠ります。

先生、みんな数学、悪い悪い、言わいけど、ぼくどうやうたん、お五
回の実力テストの数学もとーやうたん!! なしかな不安になうて
しやーない!

毎年十一月頃から、死になり度す。死になれんやうなことは、こゝに、やうて死になり度すと、並行してこの二人のあゆみのやうに不安な気持ちで動き出さなくては、程度の違いはあっても、誰しも同じ気持ちになる。おかしなものだ。のし氣に遊んでいた時は、感じなかった。不埒が、真剣に取り組出すと出てくるのだから……しむやうしたものなのだやう。時間との兼ね合いの中より、自分が見えなくなることを不安のつの要素に感じてゐるものと思う。自分のこんな気持ちとほとんど、あゆみに書さばしい。それも又ねんりに載せていきたい。百八五名、それぞれに、今の力は違うし、希望も違う。それぞれ迷いや不安は共通のものなのだ。互いに、励まし合い、支え合ふことがその部分において、充分に可能だし、やういふ状態だからこそ支え合ふことに意味がある。「友達が間違つても、教えない」という考えの人も中にはいる。ほんとにそれを、自分の生き方としていいのかどうか、不安は少しはある。



第6回実力テストの
勉強は、ほかびていますか。
あと一週間ですよ。
カットは、クマ、オン・パレード”

ス
ナ
ッ
フ

※同和教育の研究大会が来週の日曜日になった。今週は準備が忙しくて忙しくなると言う。先週末に板野中學校の先生方のつた「同和教育のあゆみ」という

百十ペーシほどの冊子も完成し、学校に届いた。大会当日、参加された県下の先生方に配布するものである。三年生の直接関係ある内容としては、三日の郡同研の時の

授業記録が15P、全伴学習、学年同和問題意見
発表会、全伴合唱「ねりし」などの取り組が20P。
ある対象は「ん」などばかりが機会があれば又見せたらあ
らう。Bacc

表紙はカワイで、3Dの金体模写風景の写真が載っている。想像になる。その写真は北側から写したもの。参考として、楠井校頭先生や豊田先生、富加見先生の名もみえる。「私が写さない!!」と南側からとらしの!」と佐野先生が叫んでいました。

※わしりんの紹介で、特に深く考えもせず、竹馬もやの
まま、縮小コピーしたものを載せた。かなり小さく写っているか
ら、内容も読む人はいないだろうと思つたら、読んだ人はいな
かには、「森のくまさん」が聞かえてました。すると
失礼です。森口先生の導が導かんでました。の一文か
ある。読んだ人は森口先生、「先生!! 二んさんが載さるや
ないですか!! どうして小まんですか!!」と言つた。どうする
もこうするもない。あとの祭りのです。しよしよくみつ
けました。エライ!!

あゆみより

※教室のゆからうない問題を先生に聞いていた。納得のいくような教へは塾の先生よりうまいと思った。



先生、おつて。苦勞様でした。後藤
先生、お土産おいしかったですか。
仁木先生、いつも楽しいゆりんも
うもありがとうございます。こ

注文前にそればかり気にしてました。
佐野先生は、ほそびでも、これから何
度も登場してくれそうです。なにせ三年先生
国のせいなのですから。――

先生の解説も聞いてみると、○○先生が私の近くまでおり、なんかしたまな気がして、ならはなり、はりりになすうーといふ。顔に丸い「ボムム」というシールもはりつけられていた、おなかを回りに、女人は笑っていた。また○○先生はほ、うとうとう、(犬の回のおぼや)



二 一の し の と 一

今日手書きの文にニールが書いていた。これは「ニール」だと思
 った。職員室の数学の問題。聞かずにここに書いて、手紙に
 ニールを付けていた。職員室に入った時、相手のひびり座った。こ
 りのひびり、私にきくように、何かに例のニールをひびりて
 やった。相手は少し、あつてにされた様子もあり、ひびりた様
 子もあり、とにかく私は泣いてきた。この方、思っています。
 と、た、〇〇先生、一本取り進んだ。↓↓可愛

い生徒にニールはそ遊ぶ先生がゐるしをすね。幼稚園とか、慣
ないとか。しつり仕返しをと下さ。あゝあ。

「今日のねりん」と詠念せられ思はず吹き出してしまふ。森口先生が「うう」と取り持ててさうじする。と本当に意外でした。それと後藤田先生が食べ物の三になると本性が出る。とは意外でした。仁木先生「トイ」で大声はり上げられてさうして用を足せだしてうか。本当におもしろ。先生連だやめと思ひます。三の三の三佐野先生の事がある。ねりんに着場してさうになをみします。なんか物足りないうな気がします。豊田先生ばかり登場する。さうして皮肉げくなういせんか？ 佐野先生とにぞく。先生連の職員室の森さまとわか。先生の知らず。部会もわがう。今日は笑つてしまふ。森口

も頑張つて下さい！ ↓ 本當はまだまだいっぱいあるのだ
か。學校の重寶、藝妓扱ひになつてゐるので、書けなひです。守
秘義務、いう、公務員としての厚い壁にははさまれていま……。
森口先生のした掃除は大掃除じゃないですよ、ほんの30cm
四方もはなだけ。仁木先生は、豊田先生の声にならなくて半分
ほど腹の中に残してトイしも出しました、あの半分はどうしたの
だつ。佐藤田先生は相変わらず、土曜の昼食もとると、にまりに
「いなり」のどつちか数多いんだま。

二年生の時より同和問題學習に取り組まれた。初めにこの大会のことが頭にあったことは確かである。リッパな大会にしたいという気持ちがあった。ともかく、みんなが同じように、どのクラスも同じように同和問題について話し合えるようにしていきたい。みんな気持ちから全体學習もスタートした。初めの頃は全体學習がイヤだった。多くの人の感想である。それを変えた。自分の考えを先生もふり返り、涙も流す友とみなさん真剣な話し合いの場に変えた。みんなの取り組みが変化してきたように先生達の取り組みも変化した。もう、きれいな授業やいうに、大会や特にどうということはない。あの子の声に聴えていかながら。A先生の言葉は、そのまま。三年担任のすべてが気持ちであつたといふ。本音の語りの中から出てくる事実は、同和問題學習は、特別な「同和教育」という一分野も形成する問題ではなく、日常の根づく具体的な生活すべてにかかわる問題であることを明瞭に示した。

同和教育研究大会を迎えて (2)

寒くなってきた。
 晩秋の曇天気というのは嫌い
 じゃない。

板中3年11月12日(火) 199号

【県同研において】

あ
ゆ
み
より

＊19日の異同研のときに、友は「も母うごで
 何かうれい。あの由、私にも好まである。でも
 風邪ひいて、のどの調子が悪いので、うたえなほかも、知れな
 いか、ごまきだり、頑張るのみよ」と思ふ。



しみじみまた歌の練習がある。私は自分なりに種張りを
 みよふと思う。私はこの「友よ」という曲を書く。好まに付
 った。なほ三年生のみしなにあそびまをかりだ。なから
 三年生のみしなと一緒うたいたいと思う。19日は私たち
 を生徒会館に歌う「友よ」をかり、私たちの熱い想いと少数
 の人数をもいから感じとてほしいと思う。19日はまた
 みしなとの絆を深めることをできるように頑張りたい。
 ↓ 文化祭の時の合唱が好評であって、大成功

も知れぬが、基奉の形は愛を存けり。退曰、石井中
學校も同和教育の研究會があった。一年生ニクラ入
の合唱があつてなみちが評判よかつたと聞こいる。板中は三
年生全員をやる。そこが便打うた。全員だとい入退場も時
間がかかる。技術的問題もある。いじあげ50名ぐらいの代表
で、こつと集まあつたが、全員をやるよう願ひした。文化祭後
の感想にもあつたように、全員で取り組んだ全体合唱、全
体学習、だからこゝ意味があるんだ。

「友よ」は、みんなに評判いいネ。大きな声で歌いたい。

※今日先生がみんな作文も読んだけど笑ってしましました。なをかといつとみんなバラバラの
ような意見でも全部身に覚えがあるををう
ぞす。だといはらさには、まるまり二年の初



2) 一人づつが、今日遊んでいた。
 村裏に居た。休まない。
 生き望む。休まない。
 人にならな。また来ない。
 元気で。休まない。
 着いた。休まない。
 飯を食う。仲間が居る。

2) 一人づつが、今日遊んでいた。
 村裏に居た。休まない。
 生き望む。休まない。
 人にならな。また来ない。
 元気で。休まない。
 着いた。休まない。
 飯を食う。仲間が居る。

この詞をきくと、思ひます。一年をくつが、素いたたけで。
 この詞に「歌をうけ」と、柴田先生に言はれ、詞が立派な歌で、
 いろんな作風と、うた、聞かして。

め、金持字遣かりやだつた頃の私さうしては私の
場合、作文にも書いたけど、さうかけがあつて考え方が変な
けと、という二とはさしもいつかまとも真剣に考える時
があると思ひます。勉強の時間とはいふやうのは、私の姓
駱からして思ひまりウソのたてまです。きつとやの人も
差別がまらんだから、おかわりたくなんだと思へいる
んだうづけど、やはり目の前の差別を無視しても、心の中
はモトモヤすと思ひます。私は差別がどうしても許さま
せん。無視して生きるのを樂でも私にはできません。だから
この世の中も変えてやろと思へるのです。ムカフてニギやあう
ころにあると全部こわれてしまへはいいのになと思つて
があるけど、やはりよく考えろといひ人も、いい事もい
はれるので、ヤケにならずに、世界の悪い
モノも変えてやろつと思ひます。 ↓
同和問題学習は、これからますます続けいか
なすはならない、みんなのこどもたちは先生達



自分の生ま方としてどうなの
か、この目の前にいる友も
裏切るかも知れないのか、
な思ふと持てる。日常の
生造の中で、いかしていきたい
ものかと思ふに「る」

※今日の夜、お母さんが夜食

に あみし焼き"をして
くれました。こつこつおいし
です。"フタになるわー"と言
いつ、12個あったのも全部
食べました。これをここれ

同和教育研究大会を迎えて (4)

学習フリーの精神が、多くに、全体学習は、模範に、この原形に、終ったように思う。

後の金持検査までであった。その検査は、卒業といふ尺同級生が差別者になつてゐる現実と指摘するところから始まつている。「……さう中學校をもちきだして友達に、『あの子であつたか？』部活の子で」と告げる。「あの監督やうな」と話す。そんな話でもすること、自分も部長の人間ではないとも示してく、「いけず前までは（一）に頑張つていたはずの仲間も来る……」こんな先生の語りかけなり她また「波濤探、タヤガ美しい」「ミナコ迷けるな」「私の目もすて」と資料を使へずにきた。資料の世界を考へてきた。それはそれで意味もあり大切なことだ。それゆゑの進歩段階に応じて資料(リポ)も読んではいけない必要になつてくる。それはそれとして私達は、この全体授業で、初め資料から振けて自分達にかかわる身近な問題として同和問題を考へていくことになる。差別はない、差別とは何ぞと思ふに及ぶ人の人が、すくなくはない、差別はないと気づかされた。この授業は、おどろかしなどにも一種のよろこぶがある。現に今も、全体授業もより進みとき、この授業もあげる人が多い。先生達にとともに、はじめて同和問題学習に取り組む姿勢もあり方と考へ直すきう分けになった。教える姿勢もはなれて、共に希望を語るとき、であり、ほかに、誠も胸に刻むことで、その心の中の意味がかりはにあるきうかつてあった。



「さう、4時間はいけるぞーという気になりました。本
当においそぎです。↓あかし燈子というのは、先生
となんものか知りなぬ。後藤田先生の為に、一層
持つて来さうませんか？」

板中3年 11月13日(水) 200号

昨年庚子年号の発行が一月一日でした（実際に作るのは十二月二十三日頃）。今年は、十四日頃とはいへませんが、
 というが、三年生は終りが二年生より早し、三年期は忙し
 くなるので、大体最終は昨年並みの号数で終わるだろう。
 これからも、三月まで、勉強をがんばっていくぞ、と思う。

スナッフ・独り言

きほどどういふに、三年生の先生方はなにでこゝかに面白
いんだ。教頭先生に頼んで頼んでとやうな日々にうそを
カセも買せもらつた。(固執用)と云す。)整児先生、つれく
ては方ない(自分のものさずのド)。さうさく電池を入れて、試
運転、どこかうそもスウともいわなり、ヤーヤー言つてよめ
けに、これは、とりかえそもらまじう」と御注進、阿都見
生が念の爲に思つてみると、スイツク入つて居かつたといふ
おもほへし人か、ガソリンでめて「車が故障した、修理さそも
おわいてさゆひであんなにならず。」

● 今日では調理実習。カップケーキとフリン。担任の先生は試食させてくれるので卒業生達の班もそそめてくれた。先生のことも必死より早く、森口先生が席を立つてのやまをきいて、はしやうに、カップケーキもつく。JBは、はしで実習がなれないなどとブツブツ言っている。かゆいやうな事をうそをついた。いつか、返してやるぞ(う) と、きやうくやううううに、向こう側をうひやひや。そして、わりには佐野先生が、はしからフリンを食べよう。私食べたが、たのしい」とのたまふ。なんかな食えたの悪いぞに言う。大怪。このケーキ、フリンは、3人で作て、(担任先生にもそそめてくれたのです。食えておたりまをををす。知らん人が聞いたら先生一人が一人庄あしたように聞かざるではないか。こんな



人達に臨んで自分のうさぎの時には、みせむらかして食べて
まわりには、一口もいえずとも分けずに置いて、おとなしい先生
は懐きやすナリ！

※学造前、教室に座つてると佐野先生が、入つてきた。何事かと問はれたら、「先生、次二百号を……生徒が言まつ、何かするんつ」とのこゝろ、わたりん二百号記念に何か特集するのかと聞かされたら、「いや、そのさういふのにはならなかつた。後で十分間に合つたのだから……おかげで、二百号の記念に何かせなかりんのだろつ」とか考へた。

二箇号なで、どうしうにたひのぞす。へかじにきせじや、
ヌイスにゑする。二箇くらゐは、説金金をもなんでもなくて
まの、平治号と同じです。と、たまにはエラソーに言かう。
※今はやけりし年の勉強のことゝ氣になせしむ。

生徒の柱方学習にやむを得ないかどうかな。この柱方をとくとおれは、生徒面での問題をなんかほとんど出てこない。授業にいても真剣な表情がみえてくる。補習の時に問題



に、物音ヲ其ノ所ニ取り組むことを怠てゐる。しかし、まだまた一方では、娼寮のチヤムカ鳴きも、下都下をウロウロしてゐる姿も見かけざることも多い。休憩の10分間を遊歩時間と思つてゐる人が多量のじやないか。あの10分間は、次の娼寮の準備の爲であつて、突として遊びのためではない。チヤムカ鳴つてから水を飲みに行くなど、言語道断である。

あ
ゆ
み
より

※今日(日)は国語と英語の共同テストが返ってきた。すると国語が返ってきた瞬間にとっても喜んだけど、結局まちがいで-10点。本当はいくらだったかと、理性がゆるんでくれたら、結局10点だった。少し悲しかった。だからと

同和教育研究大会も迎えて

今年になつて二Aの公開授業のあとの全体授業は多く
の本音の発言がみられた。それは二Aの授業のすばら
しさを反映して、全体授業になつたんだよつな授業に
なつた。多くの今もなお残る差別の姿態の一部分、語られ
た。そこから本物の話し合ひが起きた。

本書に於けるとまれば、それは、視狀を變えていくことには結びついていかなひ、自分の本音をみづつゝ、それを越えようとするから価値がある。それが自分の差別心を没つといふことだから、友達の本音の語らひは、一言一言が胸につきまする。体が震えるような感情の波がある。はじめて見えてきたものがある。許せんと思つゝ、しかし、それも語ってくれる友の

顔を見たとて、この苦しさも乗りこえてなくては思ふ。
 そんな話し合いの境になつてゐた全休民習だ、によつ
 に思ふ。「体を熱うなせ」といふ。その時のみんをの氣
 持うも、何よりもビツタリと表れ、只言葉もこの時に出た。
 「体が熱うなせ——」。こんな思ひも持てた板中三年生を
 すばらしいと思ふ。

次からは本当にその点寂がとりたいてい感があります。

↓ 下がまんはイヤじやねえ、先鋒の方もイヤ屋しなす
つけ間違え上すければ、ほんまにくゆし
い、10点も次のテストを取り返すことぞ
おまように頑張るといひつ、六回の実力ま
であと少ししかないもんずあ、

